

配管用炭素鋼鋼管 (SGP) Carbon steel pipes for ordinary piping

(JIS G 3452-1997抜粋)

黒管の寸法、質量及び寸法許容差

呼び方		外径 mm	外径の許容差		厚さ mm	厚さの許容差	ソケットを含まない 単位質量 kg/m
A	B		テーパねじを切る管	それ以外の管			
6	1/8	10.5	±0.5mm	±0.5mm	2.0		0.419
8	1/4	13.8	±0.5mm	±0.5mm	2.3		0.652
10	3/8	17.3	±0.5mm	±0.5mm	2.3		0.851
15	1/2	21.7	±0.5mm	±0.5mm	2.8		1.31
20	3/4	27.2	±0.5mm	±0.5mm	2.8		1.68
25	1	34.0	±0.5mm	±0.5mm	3.2		2.43
32	1 1/4	42.7	±0.5mm	±0.5mm	3.5		3.38
40	1 1/2	48.6	±0.5mm	±0.5mm	3.5		3.89
50	2	60.5	±0.5mm	±1%	3.8		5.31
65	2 1/2	76.3	±0.7mm	±1%	4.2		7.47
80	3	89.1	±0.8mm	±1%	4.2		8.79
90	3 1/2	101.6	±0.8mm	±1%	4.2	+規定しない	10.1
100	4	114.3	±0.8mm	±1%	4.5	-12.5%	12.2
125	5	139.8	±0.8mm	±1%	4.5		15.0
150	6	165.2	±0.8mm	±1.6mm	5.0		19.8
175	7	190.7	±0.9mm	±1.6mm	5.3		24.2
200	8	216.3	±1.0mm	±0.8%	5.8		30.1
225	9	241.8	±1.2mm	±0.8%	6.2		36.0
250	10	267.4	±1.3mm	±0.8%	6.6		42.4
300	12	318.5	±1.5mm	±0.8%	6.9		53.0
350	14	355.6	—	±0.8%	7.9		67.7
400	16	406.4	—	±0.8%	7.9		77.6
450	18	457.2	—	±0.8%	7.9		87.5
500	20	508.0	—	±0.8%	7.9		97.4

備考1 呼び方は、A及びBのいずれかを用いる。Aによる場合にはA、Bによる場合にはBの符号を、それぞれの数字の後に付けて区分する。
 2 呼び方は、350A以上の管の外径の許容差は、周長測定によることができる。
 この場合の許容差は、±0.5%とする。なお、外径の測定に周長を用いる場合の測定は、周長実測値又は実測値の換算外径のいずれによってもよい。
 いずれも同一許容差(±0.5%)を適用する。ただし、外径(D)と周長(l)の相互換算は、次の式によって計算する。
 $l = \pi \cdot D$ (ここに $\pi = 3.1416$ とする)
 3 手入部などの局所的な部分については、厚さの許容差が、上記の表を満足していることが確認できる場合は、上記の表の外径の許容差を適用しない。
 4 質量の数値は、1cm²の鋼を7.85gとし、次の式によって計算し、JIS Z 8401によって有効数字を3けたに丸める。
 $W = 0.02466t(D-t)$
 ここに、W:管の単位質量(kg/m) t:管の厚さ(mm) D:管の外径(mm)